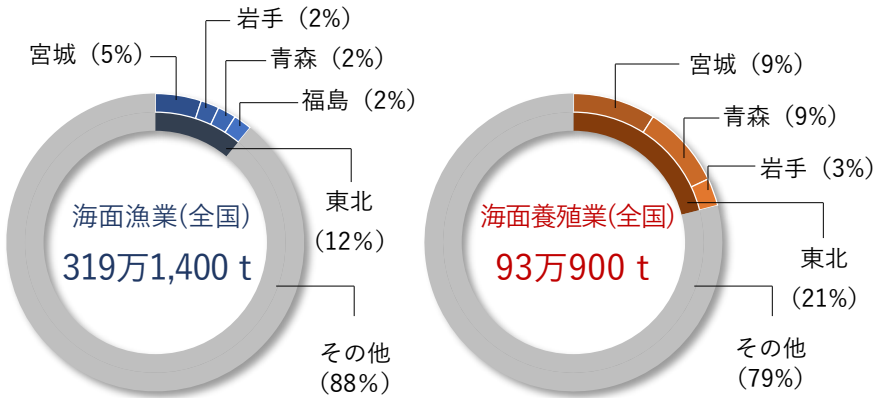


テーマは「海面漁業・養殖業の生産量(令和3年)」

東北の全国シェアは漁業 12%、養殖業 21%

全国の海面漁業生産量(令和3年)は319万1,400t、海面養殖業生産量は93万900tでした。このうち、東北の海面漁業生産量は37万7,200t、海面養殖業生産量は19万3,300tで、全国シェアはそれぞれ12%、21%となっています(図1)。

図1 海面漁業・養殖業の生産量と東北が占める割合(令和3年)



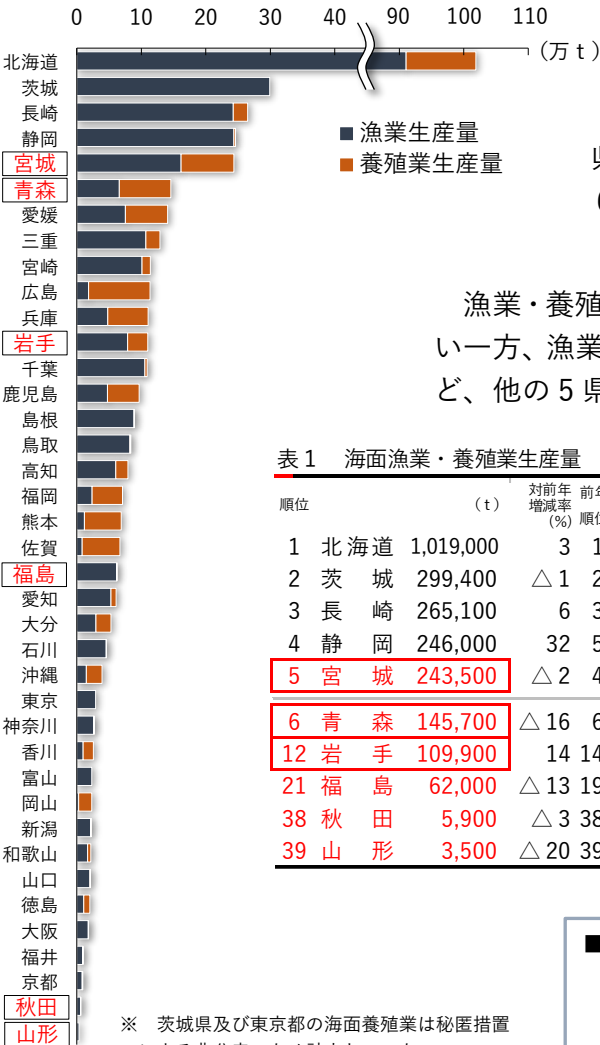
Vol.12 [令和4年12月]

「まふナビ東北」では、農林水産省が実施している統計調査結果から、「東北地域」にクローズアップした情報をお届けします。

[発行]
農林水産省 東北農政局統計部

※ 東北値は東北6県の公表値の積算値(以下同じ)。
海面漁業の秋田県及び山形県は生産量が少なく0%、
海面養殖業の秋田県及び福島県は同じく0%、山形県は生産なし。
表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と計が一致しない場合がある(以下構成グラフにおいて同じ)。

図2 都道府県別海面漁業・養殖業の生産量(令和3年)



漁業・養殖業の合計生産量は、宮城県、青森県が全国5位、6位

東北各県の海面漁業・養殖業を合計した生産量では、宮城県が24万3,500t(全国第5位)、青森県が14万5,700t(同6位)、岩手県が10万9,900t(同12位)となっています(図2、表1)。

漁業・養殖業別の生産動向をみると、前年に比べ、養殖業の変動は少ない一方、漁業は岩手県が20%増加したものの、青森県が28%減少するなど、他の5県とも減少しています(表2、3)。

表1 海面漁業・養殖業生産量				
順位	(t)	対前年増減率(%)	前年順位	
1	北海道 1,019,000	3	1	
2	茨城県 299,400	△1	2	
3	長崎県 265,100	6	3	
4	静岡県 246,000	32	5	
5	宮城県 243,500	△2	4	
6	青森県 145,700	△16	6	
12	岩手県 109,900		14	
21	福島県 62,000	△13	19	
38	秋田県 5,900	△3	38	
39	山形県 3,500	△20	39	

表2 海面漁業生産量				
順位	(t)	対前年増減率(%)	前年順位	
1	北海道 910,400	2	1	
2	茨城県 299,400	△1	2	
3	静岡県 243,800	32	4	
4	長崎県 242,700	6	3	
5	宮城県 161,500	△2	5	
11	岩手県 78,900	20	14	
13	青森県 65,800	△28	10	
14	福島県 61,800	△14	13	
37	秋田県 5,700	△5	37	
38	山形県 3,500	△20	38	

表3 海面養殖業生産量				
順位	(t)	対前年増減率(%)	前年順位	
1	北海道 108,600	15	2	
2	広島県 95,300	△4	1	
3	宮城県 82,000	△2	3	
4	青森県 79,900	△2	4	
5	愛媛県 65,700	△2	7	
11	岩手県 31,000	2	11	
34	福島県 200	100	35	
35	秋田県 200	100	34	

※ 山形県は海面養殖業の生産なし。
表中の「△」はマイナスを表す。

都道府県別の生産量
今回ご紹介している「海面漁業・養殖業生産統計」のデータは、漁業経営体が所在する都道府県で集計(属人統計)しています。水揚げ港で集計(属地統計)したものではありません。

※ 茨城県及び東京都の海面養殖業は秘匿措置による非公表のため計上していない。



漁業生産量の約6割を占める「いわし類」+「さば類」

東北の海面漁業生産量の魚種別割合をみると、「いわし類」の36%と「さば類」の19%で全体の約6割を占めています（図3）。

図3 海面漁業生産量の魚種別割合（令和3年、東北）

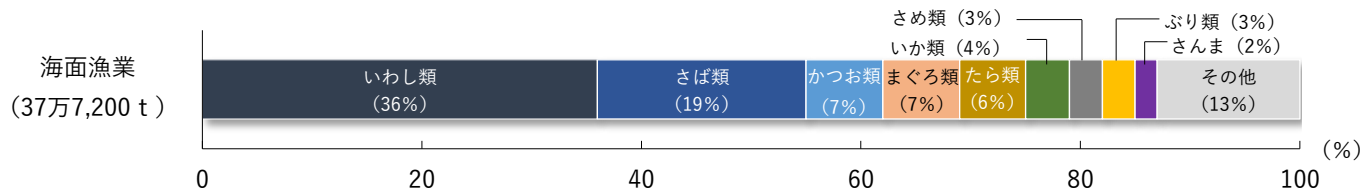
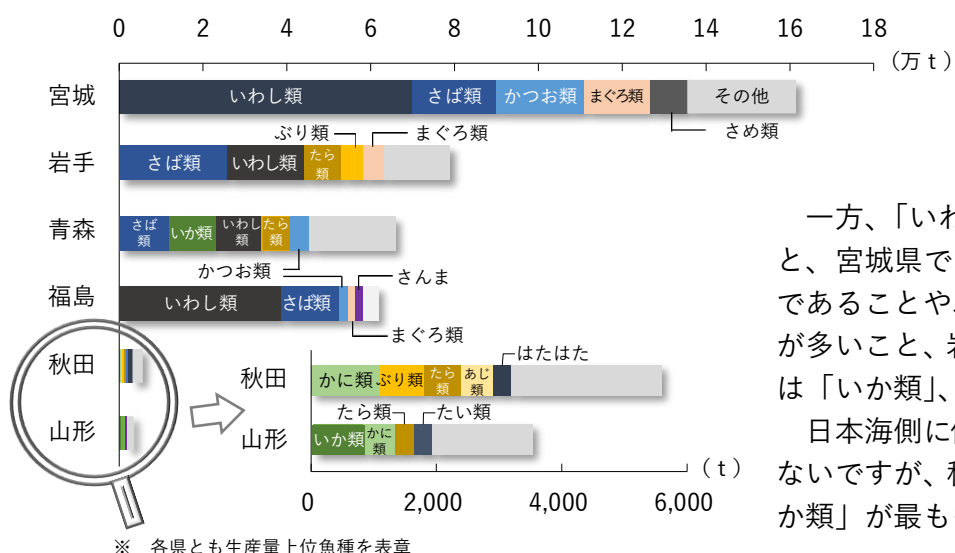


図4 海面漁業魚種別生産量（令和3年、東北6県）



この「いわし類」、「さば類」の生産シェアの特徴を東北6県でみると、宮城県、岩手県は生産量全体の5割以上、福島県は8割以上を占めています。

一方、「いわし類」、「さば類」以外の魚種をみると、宮城県では、「かつお類」が生産量全国第2位であることや、フカヒレの原料にもなる「さめ類」が多いこと、岩手県は「たら類」、「ぶり類」、青森県は「いか類」、「たら類」が多いことが特徴です。

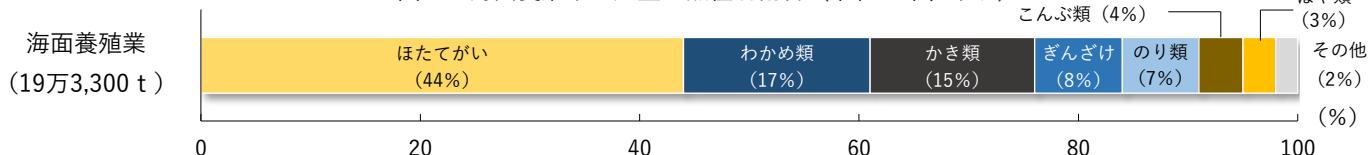
日本海側に位置する秋田県と山形県の生産量は少ないですが、秋田県では「かに類」、山形県では「いか類」が最も多い魚種となっています（図4）。



養殖業生産量の約8割を占める「ほたてがい」+「わかめ類」+「かき類」

東北の海面養殖業生産量の魚種別割合をみると、「ほたてがい」の44%、「わかめ類」の17%、「かき類」の15%で全体の約8割を占めています（図5）。

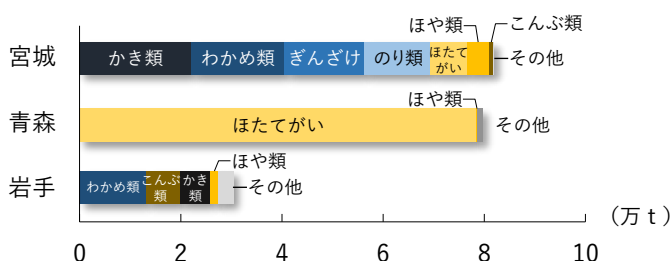
図5 海面養殖業生産量の魚種別割合（令和3年、東北）



東北6県で比較的養殖が盛んな宮城県、青森県、岩手県の生産量をみると、宮城県では全国第1位の「わかめ類」や「ぎんざけ」のほか、広島県に次ぐ全国第2位の「かき類」など、様々な養殖が行われています。

また、青森県は「ほたてがい」が全国第1位、岩手県は宮城県に次いで「わかめ類」が全国第2位といった特徴があります（図6）。

図6 海面養殖魚種別生産量（令和3年、東北各県）



-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

海面漁業生産統計調査の詳しい情報（公表資料）はこちらからご覧いただけます。

農林水産省ホームページ … https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/

注：今回ご紹介した海面漁業生産統計調査（令和3年）のデータは概数値であり、確定した詳細な数値は今後、農林水産省ホームページで公開します。

